

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中西 麻一子
研究テーマ	インド仏教美術におけるカーラ龍王の讃嘆図に関する研究
研究概要	カナガナハリ大塔より出土した複数の仏伝図からカーラ龍王の讃嘆図を取り上げ、その図像表現を文献資料に基づいて解明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>今年度は、令和2年度科学研究費助成事業（若手研究）の採択を受け、研究課題「南インドの仏教受容に関する図像学的研究：カナガナハリ大塔を手掛かりに」の研究計画に基づき、カナガナハリ大塔から出土したカーラ龍王の讃嘆図についての研究を遂行した。</p> <p>具体的には、中インドから南インド地域までのカーラ龍王の讃嘆図を分析し、図像の背景に描かれる複数の瑞相表現を文献資料から比定することで、おなじ南インド地域のカナガナハリ大塔とアマラーヴァティー大塔の図像表現に相違があることを指摘した。</p> <p>また、2月に計画していたサーンチー遺跡を中心とする中インド仏教遺跡調査は、日本およびインド国内における新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大を受けた渡航制限措置に伴い延期とした。サーンチー第1塔塔門に彫り出される最古のカーラ龍王の讃嘆図を実見し、調査することは出来なかった。次に記した学術論文および研究発表には、これまでの現地調査で収集した研究資料（画像データ）を使用している。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①「南インドにおけるカーラ龍王とその瑞相表現」『真宗文化』第30号、pp. 1-19、京都光華女子大学真宗文化研究所（2021年3月、査読有）</p> <p>②「インド仏教美術におけるカーラ龍王と草刈人の図像表現」京都光華女子大学真宗文化研究所研究発表例会にて発表、（2020年12月18日オンラインリモート会議システム Zoomによる開催）</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>①令和2年度（2020）年度科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 若手研究：20K12781（2020年4月—2024年3月）</p>
4. 今後の課題	<p>草刈人の布施説話が描かれるレリーフを取り上げ、その図像表現を解明したい。草刈人の布施説話は、カーラ龍王の讃嘆説話と同じくシッタールタの成道直前の重要な場面として知られているにもかかわらず、管見の限り仏教学、及び美術史学においても特筆すべき先行研究が見られない。また、この説話が南インドで図像化が行われていない要因も解き明かされてはいない。そこで、この説話を伝える文献資料と図像資料を収集・整理することから始め、なぜ南インドで草刈人の布施図が受容されなかったのかを究明する。</p>